


## C-6 キャンドルづくり

<b>概要</b>	ろうの性質を利用して色や形を変え、自分なりのキャンドルをつくる活動			
<b>ねらい</b>	<b>自然に親しむ</b>	<b>仲間づくり・協調性</b>	<b>課題克服・達成感</b>	 HP 詳細へ
			○	
	<b>歴史文化に親しむ</b>	<b>知識</b>	<b>創意・工夫</b>	
		○	◎	
<b>条件</b>	<b>場所</b>	実習室 等	<b>対象</b>	小学生以上
	<b>時間</b>	およそ2～3時間程度 ※完成までには時間を要します。	<b>人数</b>	40名程度
	<b>時期</b>	通年	<b>天候</b>	全天候実施可能
	<b>料金</b>	パラフィン 1kg 1,900円 (10～15人分) ※ろうを細かくした素材 ろうソクの芯 2.5m 350円 (20～25人分) ごみ袋 (大) 150円		
<b>準備物</b>	<b>センターが貸し出しできるもの</b>		<b>団体が準備するもの (共通)</b>	
	<input type="checkbox"/> カセットコンロ <input type="checkbox"/> 鍋 <input type="checkbox"/> お玉 <input type="checkbox"/> カッター <input type="checkbox"/> 千枚通し <input type="checkbox"/> 容器 <input type="checkbox"/> 抜き型		<input type="checkbox"/> ガスボンベ 軍手 <input type="checkbox"/> 新聞紙 <input type="checkbox"/> 紙コップなど容器 <input type="checkbox"/> 割りばし <input type="checkbox"/> 着色料 (クレヨン、粉絵具等)	
<b>展開</b>	<p><b>1 事前 (当日までの準備)</b></p> <p>(1) キャンドルのつくり方や活動の流れを確認する。 (2) 材料や用具等の準備をする。</p> <p><b>2 活動 (当日の流れ)</b></p> <p>(1) 作り方の手順等の説明、諸注意 (安全面) → センター職員が行うことができます。</p> <p>(2) 「キャンドルづくり」の実施 (基本的な流れ)</p> <p>①パラフィンを湯せんで溶かし、液体にする。 ②液体状のろうに、着色料を混ぜ、色をつける。 ③準備した容器に、割りばしを使って芯をセットする。 ④容器の中に、液体状のろうを流し込む。 ⑤完全に固まるまで、平らなところへ置いておく。 ※どんなキャンドルをつくるのかは指導者にお任せします。容器を工夫したり、色を複数使ったりすれば、オリジナリティを出すことが可能です。事前に研修者に伝え、用意させておくとうよいです。 ※活動後、「キャンドルのつどい」を開催し、振り返り時に自分で作ったキャンドルを灯す活動も考えられます。</p> <p><b>3 事後 (片付け)</b></p> <p>(1) 不要なものや用具を片付け、活動場所を清掃する。 (2) お互いの作品を鑑賞し合い、褒め合ったり作品作りについて振り返ったりする。 (3) 用具の返却、終了の報告</p>			
<b>実施の留意点</b>	<p>○ 材料や用具等は、基本的に実施団体でご準備ください。上記、貸出物品については数に限りがありますので、ご相談ください。</p> <p>○ カセットコンロを扱います。熱したろうでの火傷等も想定されます。事前指導を行い、安全な実施をお願いします。</p> <p>○ 換気も十分に行いながら、活動を実施してください。</p>			

## C-6 キャンドル作り資料



### 〈貸出物品〉

キャンドル用容器:37 缶  
 カセットコンロ:10 台  
 鍋:7 個  
 おたま:23 本  
 カッター:34 本  
 千枚通し:11 本  
 抜き型:各種  
 ※貸出数には、限りがございます。



↑抜き型各種

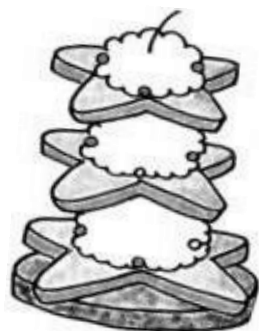
### ～作品例～



ブロックキャンドル



ケーキキャンドル



キューブキャンドル



ツリーキャンドル

※作成するキャンドルの種類によって、作り方や所要時間、準備物が異なりますので、事前にご相談ください。